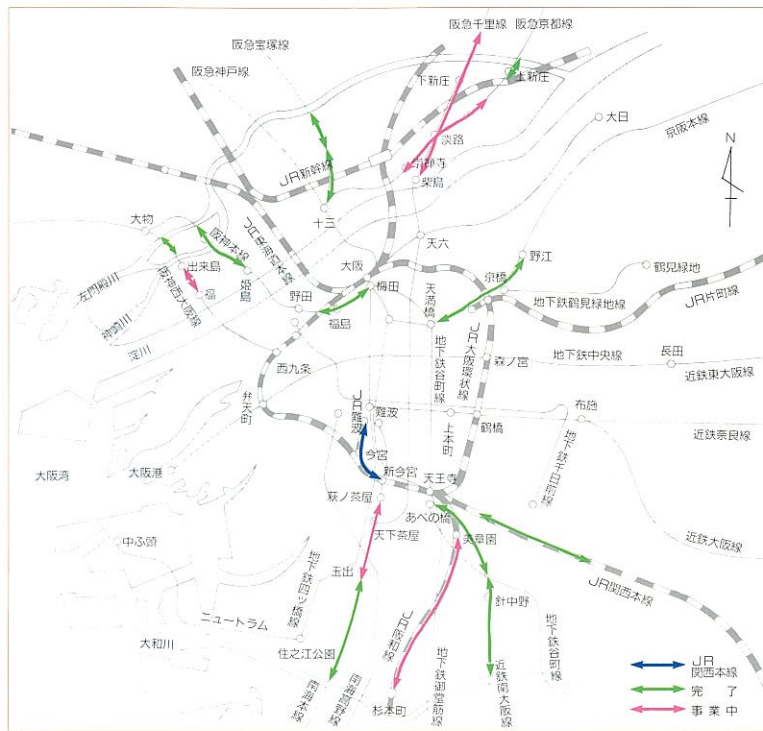


大阪市内の主な立体交差事業



この事業は、建設省所管の都市計画事業であり、「ガソリン税」、「自動車重量税」等の道路特定財源と、大阪市及びJR西日本の負担によって行われています。

●事業についてのお問合せ

大阪市建設局街路部立体交差課 ☎(06)208-9481
西日本旅客鉄道株式会社 大阪建設工事事務所 ☎(06)375-8948

都市計画事業

JR関西本線(今宮駅～JR難波駅間)

連続立体交差事業の高架化・地下化完成



大 阪 市
西日本旅客鉄道株式会社

都市交通の流れを創る

都市計画事業（連続立体交差事業）

大阪市では都市交通施設として極めて重要な役割を担っている道路と鉄道の安全と円滑化を図り都市の健全な発展に寄与するための連続立体交差事業を実施しています。

JR関西本線今宮・JR難波間についても鉄道の立体交差事業と併せて都市の活性化や再整備など二十一世紀に向けた新しい都市づくりを進めるために、交通拠点並びに地区の基盤整備を実施してまいりました。

JR関西本線のJR難波駅を中心とする湊町地区は旧貨物ヤードを含む17.5ヘクタールの区域で、大阪ミナミの都心に残された貴重な空間であります。昭和60年関西国際空港関連施設整備大綱の中に連続立体交差事業や阪神高速道路公団の湊町ランプなどの事業が位置付けられ、交通結節点としての機能を十分に生かし、関西国際空港と直結した都心の新しい交通拠点として整備を進めてまいりました。

JR関西本線の連続立体交差事業と複合交通センタービル（OCATビル）建設事業は、このような基本構想に沿った湊町地区の基盤施設整備の中核事業となるもので、JR難波駅を地下化し、その上に交通センター、バスターミナル、阪神高速のランプを含むOCATビルを建設したものです。さらに既存の地下鉄や近鉄の難波駅及び地下街とも直結する地下歩行者専用道路も併せて整備しました。

今後、JR難波駅の跡地を含む湊町地区は、湊町土地区画整理事業によって基盤整備を行うとともに二十一世紀の都市づくりを展望した基本構想に基づく整備を進めることになりました。

また、今宮駅付近は、大阪ミナミに近接する利便性の優れた地区であり、連続立体交差事業によるJR関西本線の高架化に併せて、今宮地区の基盤整備として土地区画整理事業を実施し、大阪環状線今宮駅（新駅）を設置いたします。

このたび、JR難波駅の地下化とJR関西本線今宮駅の高架化が完成いたしました。本連続立体交差事業によって交通の隘路となっている5箇所の踏切が廃止され、幹線道路等の交通渋滞の解消と列車運転保安の向上並びに地域分断の解消に大きく寄与することとなりました。



事業の経緯



事業の経緯

昭和60年 3月	湊町駅貨物取扱廃止
昭和60年12月	関西国際空港関連施設整備大綱
昭和62年 5月	JR関西本線連続立体交差事業及び新都市拠点整備事業調査採択
昭和63年 4月	JR関西本線今宮・湊町間連続立体交差事業採択
昭和63年12月27日	JR関西本線湊町駅移転工事に係る鉄道施設変更認可（運輸省）
平成元年 1月20日	JR関西本線湊町駅移転工事協定締結（戦災復興土地区画整理事業）
平成元年 3月 1日	株式会社湊町開発センター設立
平成元年 3月15日	JR関西本線今宮・湊町間連続立体交差事業都市計画決定
平成元年12月27日	JR関西本線今宮・湊町間連続立体交差事業認可
平成元年12月28日	JR関西本線湊町駅移転工事完成
平成 2年 1月20日	JR関西本線連続立体交差事業に関する工事計画変更認可（運輸省）
平成 2年 2月14日	JR関西本線今宮・湊町間連続立体交差事業工事協定締結
平成 2年 3月28日	都市計画道路泉尾今里線開通
平成 2年12月14日	阪神高速ランプ・湊町東西地下歩行者道都市計画決定
平成 3年 3月31日	湊町工区戦災復興土地区画整理事業仮換地処分
平成 6年 6月12日	大阪環状線（内回り）高架化使用開始
平成 6年 6月	大阪市湊町土地区画整理組合発足
平成 6年 9月	今宮駅前地区土地区画整理事業仮換地指定
平成 6年 9月 4日	JR関西本線「湊町駅」を「JR難波駅」に名称変更
平成 6年10月	湊町土地区画整理事業仮換地指定
平成 8年 3月12日	阪神高速湊町オフランプオープン
平成 8年 3月22日	JR関西本線今宮駅・JR難波駅間高架化・地下化使用開始
平成 8年 3月23日	OCATビルオープン

残 工 事

- 旧鉄道施設撤去
- 踏切跡道路復旧
- （今宮駅周辺整備）大阪環状線（外回り）高架化・今宮駅設置